

ヴィッセル神戸とスカイマークのコラボレーション

神戸空港の車両のデザインをリニューアル

楽天ヴィッセル神戸株式会社(本社:兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長:千布 勇氣)とスカイマーク株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長執行役員:本橋 学)は、神戸空港で使用している車両のデザインをリニューアルしました。

スカイマークはヴィッセル神戸のオフィシャルパートナーとして、ホームゲームが開催される日には神戸空港支店社員がユニフォームを着用するなど、ファン・サポーターの皆さんと共にヴィッセル神戸を応援してまいりました。

スカイマークは2019年より、神戸空港でヴィッセル神戸にちなんだデザインの車両を使用してまいりましたが、2026年2月16日に神戸空港が開港20周年、同じくスカイマークが同空港に就航して20周年という大きな節目を迎えるにあたり、車両のデザインをリニューアルすることになりました。

今後も、神戸空港を「西の拠点」とするスカイマークと神戸を象徴する存在であるヴィッセル神戸は、地域およびファン・サポーターの皆さんが、より身近にクラブを感じられる機会を創出していくことを目指します。

■ デザインをリニューアルする車両

- 航空機牽引車(飛行機が出発する際、安全な位置まで押したり、飛行機を移動させるときに牽引する車両)
- トeingトラクター(バルクカート・コンテナ等を空港内で牽引・運搬する車両)
- ベルトローダー車(飛行機へお客様の手荷物や貨物を積み降ろすための車両)
- バルクカート(航空機へ積み込む手荷物や貨物を運搬するための専用荷車)

■ お披露目について

- 2026年2月13日(金)、ノエビアスタジアム神戸にて開催される明治安田J1百年構想リーグ
ヴィッセル神戸 vs V・ファーレン長崎において、トeingトラクターが会場内に展示される予定です。
- 詳細は、後日、ヴィッセル神戸公式サイトホームゲーム情報にてご案内します。

神戸空港にお越しの際は、ぜひヴィッセル神戸仕様の車両をご注目ください。

以上